

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-243150

(P2001-243150A)

(43)公開日 平成13年9月7日(2001.9.7)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード [*] (参考)
G 0 6 F 13/00	3 5 4	G 0 6 F 13/00	3 5 4 D 5 B 0 4 9
15/00	3 1 0	15/00	3 1 0 A 5 B 0 8 5
17/60	1 3 6	17/60	1 3 6 5 B 0 8 9
	3 0 2		3 0 2 C

審査請求 未請求 請求項の数6 O L (全 4 頁)

(21)出願番号 特願2000-57038(P2000-57038)

(22)出願日 平成12年3月2日(2000.3.2)

(71)出願人 397065457

株式会社ジャパンテレホン

東京都新宿区新宿5丁目17番11号

(72)発明者 加茂 一義

東京都足立区六町4-3-14

(74)代理人 100080447

弁理士 太田 恵一

Fターム(参考) 5B049 BB00 BB70 FF01 GG02

5B085 BE07 CA04

5B089 GA01 GA25 HA10 KA04 KA13

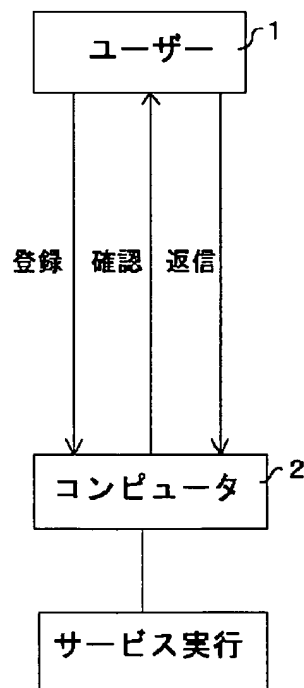
KB11 KC22 KC29

(54)【発明の名称】 イベント情報システム

(57)【要約】

【課題】

【解決手段】 コンピュータ2に登録した内容に応じて、情報を送受信するイベント情報システムにおいて、ユーザー1が、イベント、イベントの日付及びイベントに対して実行するサービスをコンピュータ2に登録し、イベントの日付の一定期間前に、コンピュータ2が、イベント、イベントの日付及び実行予定のサービスをユーザー1に送信し、該送信に基づき、ユーザー1が、イベントに対する登録内容を確認し、イベントの対応について返信し、該返信を受信したコンピュータ2が、確認内容に基づいて処理する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 コンピュータに登録した内容に応じて、情報を送受信するイベント情報システムにおいて、ユーザーが、イベント、イベントの日付及びイベントに対して実行するサービスをコンピュータに登録し、イベントの日付の一定期間前に、コンピュータが、イベント、イベントの日付及び実行予定のサービスをユーザーに送信し、

該送信に基づき、ユーザーが、イベントに対する登録内容を確認し、イベントの対応について返信し、該返信を受信したコンピュータが、確認内容に基づいて処理することを特徴とする、イベント情報システム。

【請求項2】 コンピュータに登録した内容に応じて、情報を送受信するイベント情報システムにおいて、ユーザーが、イベント及びイベントの日付をコンピュータに登録し、

コンピュータが、登録したイベントに適したサービス候補を選出してユーザーに示し、

ユーザーが、イベントに適した1又は2以上のサービスを選出してコンピュータに登録し、

イベントの日付の一定期間前に、コンピュータが、イベント、イベントの日付、及び上記選出したサービスをユーザーに送信し、

該送信に基づき、ユーザーが、イベントに対する登録内容を確認し、イベントの対応について返信し、

該返信を受信したコンピュータが、確認内容に基づいて処理することを特徴とする、イベント情報システム。

【請求項3】 確認内容に基づく処理が、イベントに対するサービスの実行を含む、請求項1又は2に記載のイベント情報システム。

【請求項4】 確認内容に基づく処理が、イベントに対するサービスの実行をするに際し、サービスを受ける者に対して、予め送受信を行って、サービスの内容を選択させた後に、サービスを実行する、請求項1～3のいずれか一つに記載のイベント情報システム。

【請求項5】 ユーザーがコンピュータに登録する際に、携帯電話、PHSを含む電話、インターネット、電子メール又は郵便を用いることを特徴とする、請求項1～4のいずれか一つに記載のイベント情報システム。

【請求項6】 コンピュータとユーザーとの間の送受信をする際に、携帯電話、PHSを含む電話、インターネット、電子メール又は郵便を用いることを特徴とする、請求項1～5のいずれか一つに記載のイベント情報システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明が属する技術分野】

【0002】本発明は、コンピュータを用いたイベント情報システムに関するものであり、特にイベントに関する情報を登録し、それに対応するための情報を送受信す

るイベント情報システムである。

【0003】

【従来の技術】

【0004】我々の生活にあっては、様々なイベントがある。ここでいうイベントとは、元旦、雑祭、こどもの日、クリスマス等の万人に共通した年中行事や、誕生日、結婚記念日、法事、お中元、お歳暮等の個々人の行事等を意味するものである。かかるイベントを忘れてしまうことも多々ある。また、カードの送付やプレゼントの贈呈等のイベントに対するサービスを決定し、それを実行することは負担となることもある。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

【0006】そこで本発明は、イベント、イベント日付等を知らせ、イベントの予定の忘却を防止することを目的とする。また、イベントに対するサービスの決定時期をイベントが行われる直前まで猶予することを目的とする。さらには、イベントに適したサービスを選出することによって、イベントサービスを自ら考える手間を省けることを目的とする。また、サービスを実行の手間を省けることを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】

【0008】本発明の課題を解決するための手段は、下記のとおりである。

【0009】第1に、コンピュータに登録した内容に応じて、情報を送受信するイベント情報システムにおいて、ユーザーが、イベント、イベントの日付及びイベントに対して実行するサービスをコンピュータに登録し、イベントの日付の一定期間前に、コンピュータが、イベント、イベントの日付及び実行予定のサービスをユーザーに送信し、該送信に基づき、ユーザーが、イベントに対する登録内容を確認し、イベントの対応について返信し、該返信を受信したコンピュータが、確認内容に基づいて処理することを特徴とする、イベント情報システム。第2に、コンピュータに登録した内容に応じて、情報を送受信するイベント情報システムにおいて、ユーザーが、イベント及びイベントの日付をコンピュータに登録し、コンピュータが、登録したイベントに適したサービス候補を選出してユーザーに示し、ユーザーが、イベントに適した1又は2以上のサービスを選出してコンピュータに登録し、イベントの日付の一定期間前に、コンピュータが、イベント、イベントの日付、及び上記選出したサービスをユーザーに送信し、該送信に基づき、ユーザーが、イベントに対する登録内容を確認し、イベントの対応について返信し、該返信を受信したコンピュータが、確認内容に基づいて処理することを特徴とする、イベント情報システム。第3に、確認内容に基づく処理が、イベントに対するサービスの実行を含む、上記第1又は2に記載のイベント情報システム。第4に、確認内

容に基づく処理が、イベントに対するサービスの実行をするに際し、サービスを受ける者に対して、予め送受信を行って、サービスの内容を選択させた後に、サービスを実行する、上記第1～3のいずれか一つに記載のイベント情報システム。第5に、ユーザーがコンピュータに登録する際に、携帯電話、PHSを含む電話、インターネット、電子メール又は郵便を用いることを特徴とする、上記第1～4のいずれか一つに記載のイベント情報システム。第6に、コンピュータとユーザーとの間の送受信をする際に、携帯電話、PHSを含む電話、インターネット、電子メール又は郵便を用いることを特徴とする、上記第1～5のいずれか一つに記載のイベント情報システム。

【0010】本発明におけるイベント情報システムでは、ユーザーとコンピュータとの間の送受信については、携帯電話やインターネット等を利用して、人間を介さずに行うこともできるし、人間を介して行うこともできる。

【0011】また、サービスの実行については、コンピュータからの指示に基づいてイベント情報システムを提供する者を介して行うことができる他に、ユーザー自身が行うことも可能である。

【0012】ここで、ユーザーとは、本イベント情報システムを利用するものを意味し、コンピュータにイベント等を登録する者と、イベントの内容について確認を受ける者とが存在し、通常は、両者は同一であるが、異なってもよい。例えば、親が子供の結婚記念日を登録しておき、該登録内容の確認を子供にする場合には両者は異なったものとなる。

【0013】確認内容に基づく処理が、イベントに対するサービスの実行をするに際し、サービスを受ける者に対して、予め送受信を行って、サービスの内容を選択させた後に、サービスを実行するとは、例えば、イベントがお中元やお歳暮の場合に、ユーザーが指定したお中元やお歳暮の届け先の者に、予め電話等で連絡をし、お中元やお歳暮の内容を選択してもらい、該選択された物を届けること等を意味する。

【0014】

【実施例】

【0015】以下に図面を参照しながら、本発明の一実施例について説明する。

【0016】図1は、本発明のイベント情報システムの概略図である。

【0017】まず、第1段階として、ユーザー1は、携帯電話を用いて、情報システムセンターのコンピュータ2に電話し、イベント、イベントの日付を登録する。具体例として、結婚記念日、3月10日と登録する。すると、コンピュータ2が、結婚記念日に適したサービス情報を選出し、ユーザー1に送信する。例えば、レストランの予約、花束の送付、メッセージカードの送付等を、

ユーザー1に送信する。そこで、ユーザー1は、実行するサービスを選択し、該選択したサービス、例えば、レストランの予約をコンピュータ2に登録する。なお、ユーザー1は、レストランの予約を、イベント及びイベントの日付を登録する際に、同時に登録しておくこともできる。また、コンピュータ2は、ユーザー1が、レストランの予約をイベント及びイベントの日付を同時に登録した場合には、該レストランの予約以外のサービス、例えば、花束の送付、メッセージカードの送付等のサービスがあることをユーザー1に通知することもできる。

【0018】その後、第2段階として、3月10日の1週間前である3月3日に、コンピュータ2が、ユーザー1の所持する携帯電話に電話をかけ、ユーザー1に、3月10日に結婚記念日を迎え、レストランの予約についてのサービスを実行予定であることを通知することで、イベントについて確認を行う。なお、ここで、既に登録してあるレストランの予約以外にも、花束の送付、メッセージカードの送付等の他のサービスも選択できることをユーザー1に通知することもできる。通知を受けたユーザー1は、登録した内容の通りにサービスの実行を希望する場合には、コンピュータ2にその旨を伝え、仮に、結婚記念日に何も行う必要がないと考えるのであれば、イベントに対して対応しない旨を伝える。すると、コンピュータ2は、ユーザー1の確認内容に基づいて、イベントに対して処理する。すなわち、コンピュータ2は、ユーザー1が、レストランの予約を希望しているならレストランの予約サービスを実行し、何も行う必要がないなら、該イベントに対するサービスは実行しないことになる。

【0019】なお、イベントがお中元やお歳暮の場合に、ユーザーが指定したお中元やお歳暮の届け先の者に、予め電話等で連絡し、お中元やお歳暮の内容を選択してもらい、該選択された物を届けることもできる。このように、届け先の者に、贈り物の内容を選択してもらった場合には、届け先で、他からの届け物とダブルことなく無駄な物をもらわなくてすむので、届け先の者が満足することは勿論のこと、結果として、送り主であるユーザー側にも十分に満足してもらえることになる。

【0020】

【発明の効果】

【0021】本発明によって、ユーザーにイベント、イベント日付等を知らせ、イベントの予定の忘却を防止することが可能となった。また、イベントに対するサービスの決定時期をイベントが行われる直前まで猶予することが可能となった。さらには、イベントに適したサービスを選出すことによって、イベントサービスを自ら考える手間を簡略化することが可能となった。また、サービスを実行の手間を省けるようになった。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のイベント情報システムの概略図であ

る。

【符号の説明】

1 ユーザー

2 コンピュータ

【図1】

